こころの悩みを相談しませんか

9月10日～16日は自殺予防週間です。

①「こころの体温計」でストレスチェック

パソコン、携帯電話、スマートフォンから簡単な質問に答えるだけでストレス度や落ち込み度などこころの状態をチェックすることができます。

下記QRコード・URLよりアクセスし、ご利用ください。

https://fishbowlindex.jp/kumamoto/demo/index.pl



②こころの健康相談電話の時間を延長

9月12日（月）～16日（金） 午前9時～午後6時半

自身や家族のこころの悩みについて、期間中は時間を延長して電話相談を受け付けます。

この期間以外にも、平日午前9時～午後4時は電話相談を受け付けています。

こころの健康相談電話：
こころの健康センター（☎096-362-8100）

③LINEを使ったこころの悩み相談

誰にも知られずに相談できます。

友達登録してお気軽にご相談ください。

こちらからLINEお友達登録へ

相談日時：
毎週火・日曜の
午後6時～10時



（精神保健福祉室　☎096-361-2293）

結婚・誕生・新築・銀婚・パートナーシップ宣誓記念樹プレゼント

対　　象

令和3年6月1日～令和4年11月7日までに、①結婚②赤ちゃんの誕生③家の購入④結婚されて25周年（銀婚）の方⑤パートナーシップ宣誓をされた方

※③は、建物の引渡し日が対象期間に該当する場合。中古物件の購入等も対象。
※④は、平成8年6月1日～平成9年11月7日の間に、ご結婚された方。
※前回（令和3年12月4日・5日実施分）の受領者を除く。

申し込み

11月7日（月）までに市ホームページ、ひごまるコール（☎096-334-1500）、環境共生課窓口へお申し込みください。また、期限までに以下のもの（コピー可）を郵送か持参で〒860-8601環境共生課へ提出ください。

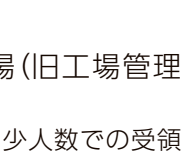
①結婚：戸籍謄本など
②誕生：親子（母子）手帳、保険証など
③家の購入：登記簿、売買契約書、家の保証書など
④銀婚：戸籍謄本など
⑤パートナーシップ宣誓：宣誓書受領証、宣誓書受領カードなど
※市ホームページからの申し込みの場合は電子添付

配布樹木

イロハモミジ・ウメ（紅・白）・キンモクセイ・サクラ（ソメイヨシノ）・シマトネリコ・ハナミズキ（赤・白）からお好きな1本。

配布当日に必要なもの

・引換券（申し込みされた方へ12月上旬に送付予定）
・苗を入れるための袋（大きめのレジ袋など）



配布日時

12月17日（土）、18日（日）午前10時～午後3時まで

配布場所

区役所正面玄関前（中央・東・南・北）、西部環境工場（旧工場管理棟 西区役所から南へ150m）

※マスクを着用し、混雑時には3密を避けるため、1人または少人数での受領をお願いします。
※当日体調が優れない場合は、代理の方が受領をお願いします。

詳しくは、市ホームページ、環境共生課
またはひごまるコールへ。

（環境共生課　☎096-328-2352）

市長とドンドン語ろう！ 防災版

5月9日～23日の間で「市長とドンドン語ろう！防災版」を各区1回、全5回開催いたしました。

平成28年熊本地震から6年が経過する中、震災の記憶が薄れ、その時の経験や教訓の風化が懸念されます。そこで、地域防災力の要である校区防災連絡会および校区自治協議会の役員の皆さんを対象に地域の取り組みや課題等について意見交換を行いました。いただいたご意見については、今後の本市の事業等に生かしてまいります。



小学校が指定避難所になっているが、トイレが体育館の外にあり、暗くて古いので整備してほしい。

避難所となる学校体育館のトイレについては、和式が多いなどの課題も多いため、各避難所の状況を確認しつつ、今後整備を進めてまいります。



他の地域の防災活動を参考にしたいので、先進的な取り組み事例を紹介してほしい。また、平成28年熊本地震の際に、地域の企業から避難場所を提供してもらい助かった。

地域の防災活動に関する取り組み事例を共有できるよう、市のホームページ等に掲載してまいります。また、熊本地震以降、多くの企業から災害時の物資や防災井戸、避難場所の提供等について協定締結の協力をいただいており、市民の皆さんへの情報提供に努めてまいります。



防災教育については、学校での教育だけでなく、防災士を活用して地域で教育を行うことも必要ではないか。

防災士が地域での防災教育に関わることは重要ですので、防災士へのフォローアップ研修などを通じて、防災士の活躍を促進してまいります。





熊本地震の記憶の風化が進んでいる。市民の記憶に残るような仕組みが必要では。

現在検討している「熊本市防災基本条例（仮称）」の中で、毎年4月16日を「熊本地震の日」とするよう検討しており、風化防止や災害へ備えるための啓発に取り組んでまいります。

※内容は開催日時点のものです。